


# 「マイクロボランティア」 プラットフォーム

A close-up photograph showing several hands of different ages and skin tones cupping a bright red, paper-like heart. The hands are positioned in a way that suggests care and support. The background is softly blurred, showing hints of green and yellow, possibly from clothing or a table.

TokyoOSS Party 2021  
2021/12/4 Team G



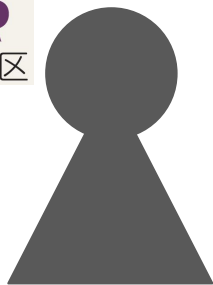
テーマ  
障がい者コミュニケーション

課題  
障害者が気軽に周囲へ助けを求めにくい問題

## 日常生活における障害者の課題

日常生活において障がい者が困ったとき**周囲へ助けを呼びにくい環境**

### 練馬区職員の方のインタビュー

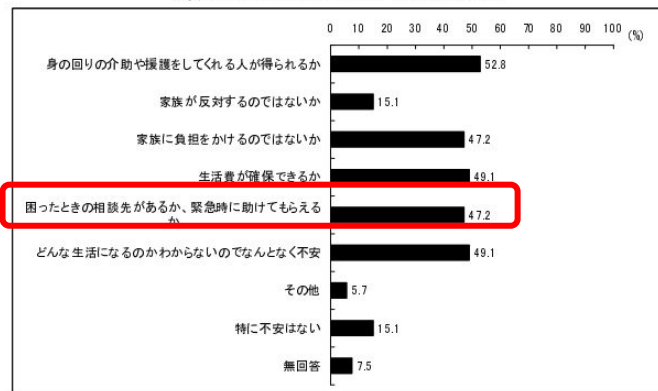


障がい者の方が  
生活で困った時、  
**周囲へ助けを  
求めにくい現状**

**コミュニケーションが難しい環境を問題視**

### 障がい者対象のアンケート※

図表40 地域で暮らすことの不安 [N=53；複数回答]



**47.2%の障害者が地域での生活での相談・助けに不安**

※<https://survey.gov-online.go.jp/h29/h29-shougai/gairyaku.pdf>

実現したい社会像

日常生活で**障害者の方が困ったとき**  
周囲の**障害に対する理解者**に**気軽に助けを求められる**社会



## 現状課題に対する解決策

### 障害者・支援に意欲的なボランティアにとって障壁が存在

#### 障害者目線

- 助けを求めたいが断られるのを気にしてしまい声をかけづらい
- 周囲の人が障害に対しての理解があるか分からず不安
- そもそも信頼できない人には頼めない

#### 解決策

障害者にとって信頼できる周囲の人に  
依頼できると解決

#### ボランティア目線

- ボランティアには意欲的だけど、相手が困っているかわからない
- 過去にボランティアをした経験があるがフィードバックがなかったので、お節介りになるのが心配

#### 解決策

障害者の依頼内容が明確で、  
ボランティア実施後の評価があると解決



## 主機能

### 4つの主機能を備えたプラットフォーム

ボランティア履歴管理機能

ボランティアの活動履歴を管理する

HELP依頼機能

障害者の方が困ったときにHELPを発信する

マッチング機能

困っている障害者と支援可能なボランティアを繋げる

ボランティア評価機能

ボランティア活動を評価するを

## 開発プラットフォームの使用例

### 本プラットフォームを土台にして以下サービスを開発

#### 障害者と支援ボランティアのマッチングサービス「マイクロボランティア」

システム登録済  
障害者



支援依頼

①

本システム



支援通知

②

システム登録済  
ボランティア



④

マッチング結果  
の通知

③

支援受諾

#### 他サービスの開発

開発者



開発者がプラットフォームを用いて  
障害者向けサービスの開発に利用可能

## サービス詳細

### 一時的に助けが必要な障害者と支援可能ボランティアをマッチング

障がい者



①周囲の人へ助けを依頼



④依頼受諾状態通知



⑤ボランティア到着時間の表示



⑥評価画面



登録ボランティア

②通知を取得

※周囲に助けを依頼した障害者がある場合



③依頼アクセプトをする



⑤依頼場所の表示

⑥評価の反映





# デモ画面

## ボランティア履歴



## ボランティアマッチング



## 各ステークホルダーへ見込めるの効果

### 障害者



- 気軽に助けを依頼できる
- 信頼性のある相手に  
即座に協力してもらえる

### ボランティア



- ボランティア機会が増える
- ボランティア活動の  
やりがい生まれる

### 開発者



- 本プラットフォームを土  
台に障害者向けサービ  
スの開発が気軽にでき  
る

### 地方自治体



- 市民の互助共助の社会が  
実現できる



## まとめ

- **障害者支援活動を促進**する機能を集約したプラットフォームを開発
- このプラットフォームを土台に**障害者支援サービスを発展**させたい

# Appendix I 作成資料

## 開発物リンク

- demo
  - demo環境の説明
    - <https://github.com/urashin/micro-volunteer-pf/blob/master/demo.md>
  - APIの説明
    - [https://github.com/urashin/micro-volunteer-pf/blob/master/about\\_api.md](https://github.com/urashin/micro-volunteer-pf/blob/master/about_api.md)
- GitHub URL
  - 開発ドキュメント・インフラ
    - <https://github.com/urashin/micro-volunteer-docs>
  - アプリ用
    - <https://github.com/urashin/micro-volunteer-app-sample>
  - PF用
    - <https://github.com/urashin/micro-volunteer-pf>

# 主機能

## 4つの主機能を備えたプラットフォーム

### ボランティア履歴管理機能

- ボランティアの信頼性を測るため、ボランティア履歴を管理
- 各ボランティアが活動する度に履歴が蓄積

### HELP依頼機能

- 障害者の方が困ったときに気軽に依頼できるように実装
- 依頼されるとボランティアとのマッチング機能が始まる

### マッチング機能

- 位置情報・ボランティアの信頼性・障害者の障害情報から依頼者の周囲で適したボランティアを数人抽出し、ボランティアへ通知
- 適したボランティアは、依頼を受諾することでマッチングが成立する仕様

### ボランティア評価機能

- ボランティア実施後、支援を受けた障害者がボランティアを評価
- ボランティアは、評価により更にやりがいを感じることができる



## 主機能を活用したサービス「マイクロボランティア」

### 障害者と支援者を即時で繋げるサービスの開発を促進するプラットフォーム

#### 障害者と支援ボランティアのマッチングサービス「マイクロボランティア」

システム登録済  
障害者



支援依頼

①

本システム



支援通知

②

システム登録済  
ボランティア



④

マッチング結果  
の通知

③

支援受諾

#### 他サービスの開発

開発者



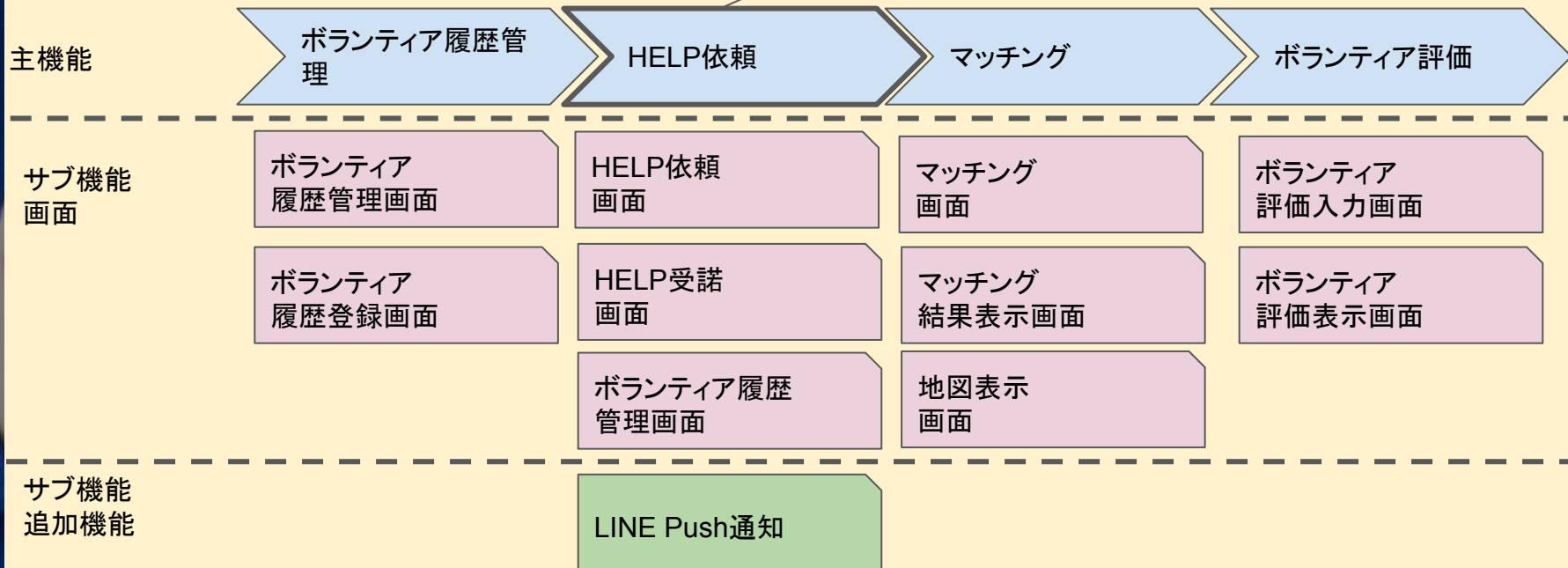
開発者がプラットフォームを用いて  
障害者向けサービスの開発に利用可能

## 今後の拡張性

主機能を中心にAPI連携や追加開発などの拡張・転用が可能

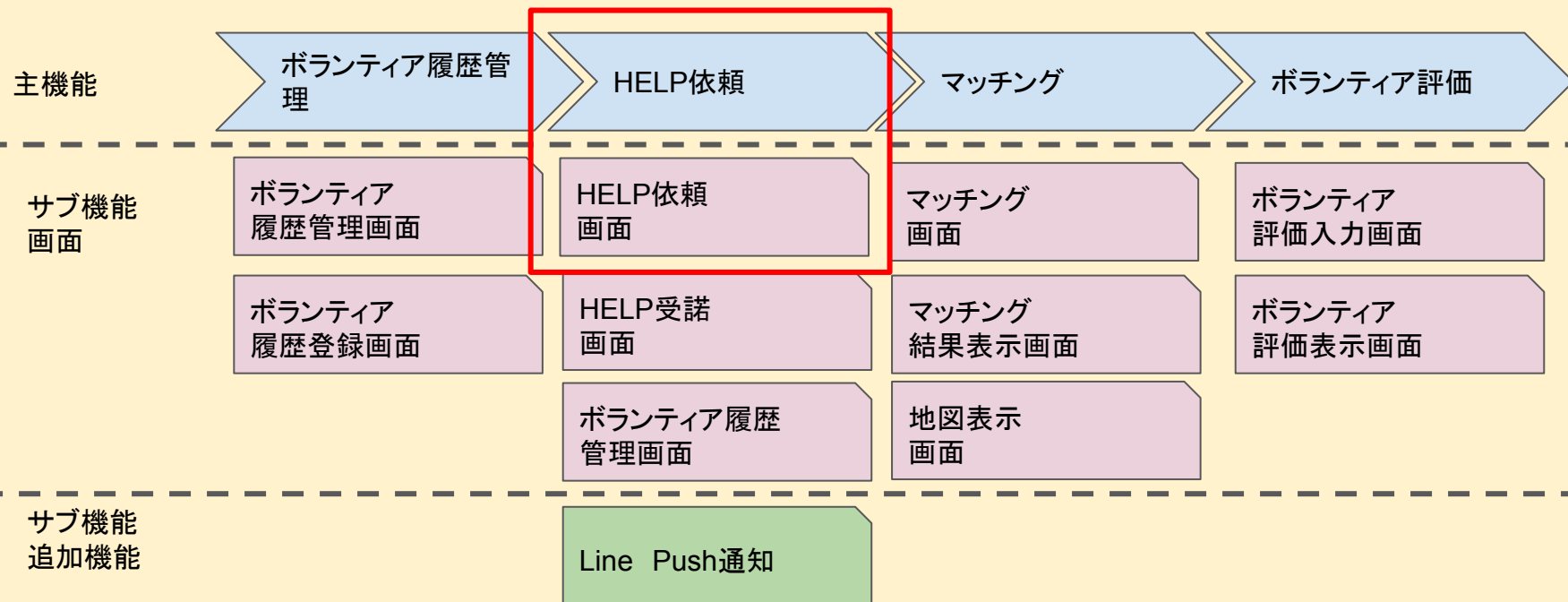
(図再掲)

API連携によって拡張可能 ex)センサーからのHELP依頼機能等



# 開発プラットフォーム

4つの主機能を土台に追加開発・転用できるプラットフォームを開発



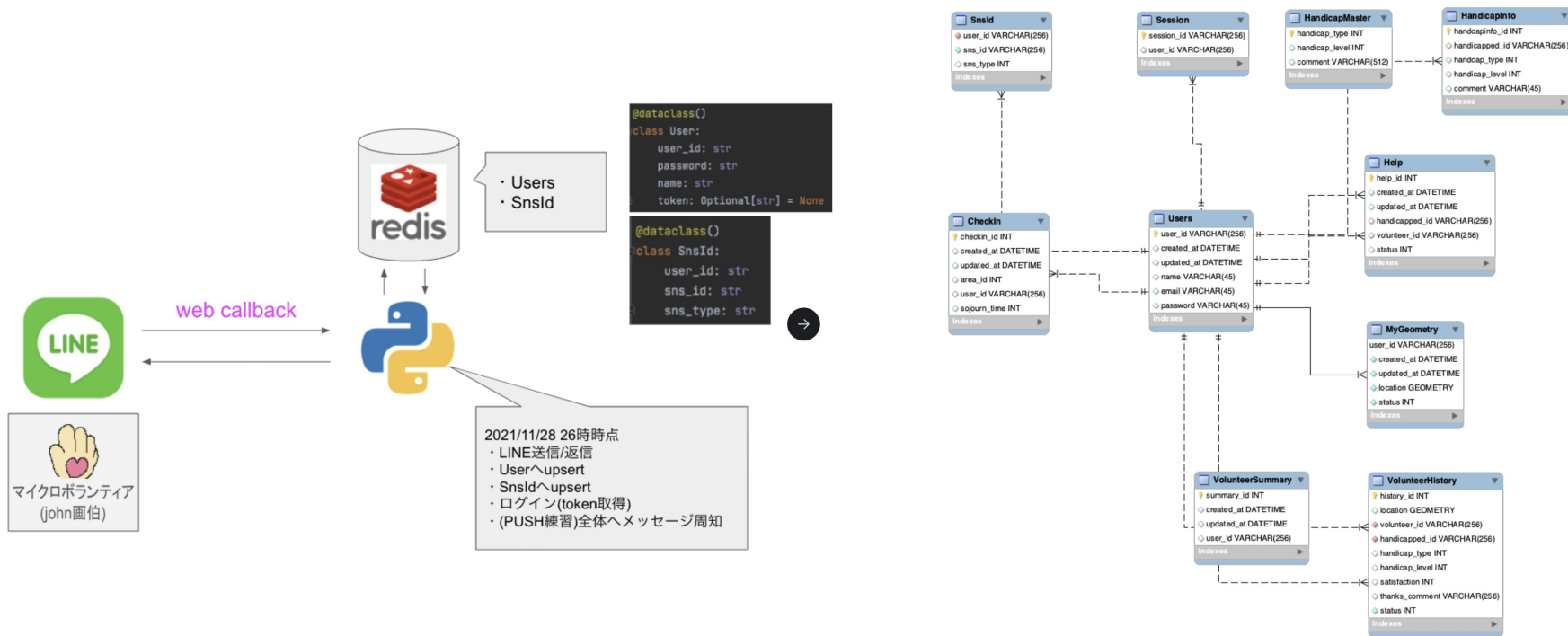
## Appendix II 議論整理資料

# マッチングロジック

信頼できる人をどうやって割り出すか以下条件でランク付けし、上位者にのみ障がい者ユーザからの依頼を通知

- 近くにいる人
- 過去に助けたことがある人
- ※ボランティア履歴

# システム概要図





# 発展可能要件

- ・ボランティア履歴
- ・センサー（QRコード）

# プレゼンで伝えるメッセージ

- 成し遂げたい世界観を共有
- 障害者コミュニケーションを支援するベースを開発
- ベースをもとにして拡張性があることを強調  
→汎用性があり、これから拡大できることを強調  
(マイクロサービスを見据えて。。。)
- 内容
  - デモはマッチングのところを強調
  - ボランティア履歴(ワイヤーで表示)
  - 今後の開発として、ボランティア履歴の登録

# 追加内容

- ・通知はLineのボットから
- ・今後のタスク
  - ・地図
  - ・ボランティア履歴
- ・必要ワイヤー画面
  - ・Line登録画面
  - ・初期ユーザ登録画面(障害者・ボランティア)